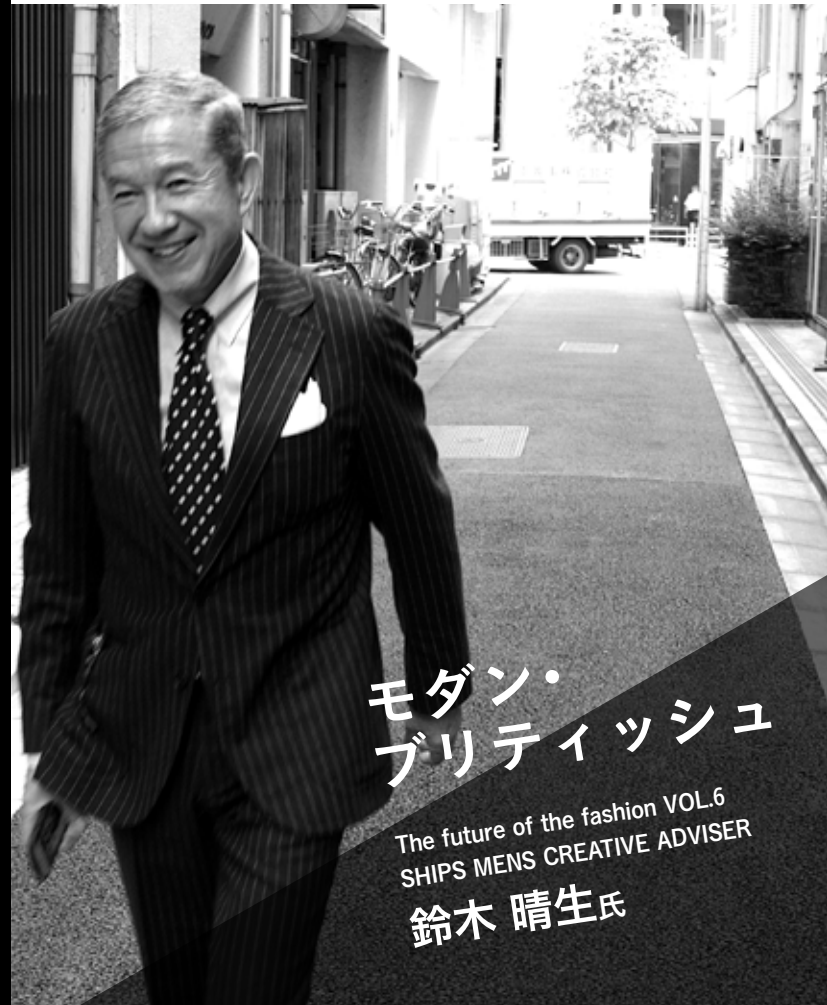


# Shinsaibashi Reform

Magazine

vol.6

The future  
of  
the  
fashion



モダン・  
ブリテイッシュ

The future of the fashion VOL.6  
SHIPS MENS CREATIVE ADVISER

鈴木 晴生氏

これからファッションは  
どう深化してゆくのか？

様々な角度からその未来を探る

# The future of the fashion

前回に引き続き、今回もシップスのメンズクリエイティブ  
アドバイザーを務める鈴木晴生氏にご享受頂きます。

「VAN」、「テイジンメンズショップ」、「エーボンハウス」、  
「メッサーフリッツ」、「グレンオーバー」と時代を駆け巡り、  
96年から「SHIPS」のメンズ企画部長に就任。2006  
年には「ワインレーベル フォー シップス」をスタートさせる。  
執行役員を経て、現在は同社の顧問を務め、多くの  
企画で指揮を執る。

多くの服に袖を通し、時代を見つめてきた同氏が考える  
現代のスタイルに着目します。



## Q ズバリこの秋注目のスタイルは？

鈴木\_\_ここ数年、少しずつではありますが、英国帰りのムードが続いています。今年はこちらの傾向がより顕著になり、名実ともにブームになりそうです。とはいえ、単に英国調のクラシックなものだけを着ていたのでは的外れです。つまり再解釈、リファインドしたブリティッシュをテーマに何をどう着るのか？そこが問われます。

## Q なるほど。

鈴木\_\_勿論モダンなものばかりを押し進めるではありません。場合によっては着こなしの中に敢えてクラシックなものを取り入れるのもいいでしょう。つまり印象としてはクラシックなものともダンなものを融合させる事です。単に昔の古い物を着ているのでは新鮮な今日を表現する事ができないでしょうから。

## Q 最初はスーツスタイルですか。

鈴木\_\_素材はサキソニーウールで、チョークストライプです。仕立てはアンコンで、パッチポケットの仕様になっています。インナーのシャツはヘアラインのタブカラーで、プリントのドットタイを合わせました。靴はスエードのウイングチップでチャーチのものです。



## Q 確かに英国調ですが、モダンに見えますね。

鈴木\_\_ネイブีสーツは黒に近い濃紺から、赤みがかかったものなど、同じネイビーでも幾つかの選択肢があります。ここで私が着用しているのはライトネイビーブルーとでもいいですかね。ちょっと明るいネイビーは濃紺に比べて軽快な印象になるのが見て取れると思います。

## Q インナーはさりげなくパターンオンパターンですか。

鈴木\_\_ブリティッシュスタイルは下手をすると老けて見えます。ですから地味になりすぎないようにパターンオンパターンにするのがいいでしょう。往年のウインザー公じゃないですけど、着こなしはちょっと派手目の方がいいですね。とはいえ、水っぽいブリティッシュは怖いですけどね。

## Q タブカラーが新鮮ですね。

鈴木\_\_今回選んだタイはポルカドットと言いまして、ピンドットとコインドットの間にある中庸な水玉柄を指します。ピンドットほど堅くなく、コインドットほどファンキーではないのです。ですからモダンで大人っぽい印象を作るのに適し



た大きさですね。タブカラーを選んだのはデザインの新鮮なのは言うまでもありませんが、プリントタイはノットが緩みやすいのです。タブカラーで首元をきちっと留めておけば緩くなる心配もないし、ノットから大検にかけてふんわりとソフトな雰囲気になりますから見た目にも機能的にも優れています。

## Q タイの大検が少し太いですか？

鈴木\_\_シップスではこの秋8.5センチが主流です。一時から比べると5~10mm太くなっています。



今日私が選んだのは9センチと太幅ですが、このくらいの太さが今の気分にあいます。最後に足元ですが、英国は黒の靴がポピュラーですが、黒だと全体の印象が重くなりますから、茶のスエードがいいですね。ファッションですからあくまで地味になりすぎるのはダメです。そして最後にチーフですが、ここは敢えて英国の伝統を取り入れてスリーピークで彩りました。

## Q 次はジャケットスタイルですね。

鈴木\_\_エルネストのブークレのチェックジャケットにグラフチェックのシャツ、パンツはサキソニーフランネルのチャコールグレーで2プリーツ、サイドアジャスタ仕様のものを合わせています。



デザインは最旬の2プリーツ、サイドアジャスタの仕様ですが、このデザインは1920年代から続く英国色が強いものですから、自然と馴染みます。足元はシャンガイのキルティモンクがモダンに魅せてくれます。

## Q こちらはかなりモダンな印象ですね。

鈴木\_\_英国のジャケットというといの一番に思い浮かぶのがツイードですが、この素材を使うとどんなに手の込んだディテールを盛り込んでもモダンに見えにくいのです。そこで選んだのがブークレ。些かタッチはフェミニンですが、カントリーチェックが施されていますからこうした趣もモダン・ブリティッシュと例えることができるでしょう。

## Q とはいえ着こなしは硬派ですね!!

鈴木\_\_そうです。クラシックなニュアンスが感じられないとブリティッシュにはなりませんから。具体的に言えば、茶系のパンツや茶の靴では面白くない。また黒いパンツや靴は水っぽく見えます。そこでパンツはチャコールグレイを選びました。



## Q 最後は注目の紺ブレですか!!

鈴木\_\_遠目は無地に見えますが、刮目するとジャカードでウインドウペーンが施されたタリアトーレのものです。デザインはラベルが広く、腰に2パッチポケットが付いたサイドベンツ仕様です。

このサイドベンツは切り込みが深く、クラシックでエレガントな雰囲気になっています。また薄い肩パットが施されていますから肩の表情も一味違うと思います。

## Q ブレザーはボタンがポイントですが、金ボタンと比べてシルバーボタンの方が無難でしょうか？

鈴木\_\_金ボタンはユニフォーム的でカジュアルな印象が強いですから難しいかもしれません。とはいえ、ピカピカのシルバーも難ですよ。そこで私はいぶし銀、アンティークフィニッシュのボタンをお勧めします。

## Q なるほどそれはいいですね。着こなしも大人っぽくしたいですね。

鈴木\_\_インナーは白のレギュラーカラーで、タイは先ほどと同様に9センチ幅を選びました。ここでのポイントはシャツの衿幅に合わせてノットを小さめにして、大検の幅はラベルに合わせて太くしたいですから、コーラの瓶のようなシルエットのボトルシェイプのタイを使います。

ネクタイの締め方もモダンを意識してセミウインザーくらいがいいでしょう。

## Q チーフなしでコサージュですか!!

鈴木\_\_ラベル幅が広いのでポケットチーフを挿してもポイントになりにくいのです。そこで、フラワーホールにコサージュをつけてみました。ブートニエールだと大袈裟な感じになりますから、この辺りが普段使いにお勧めできると思います。



# The future of the fashion

なるほど!!!の数々でした。  
モダン・ブリティッシュという  
言葉自体が一人歩きをして  
本質が分からなくなってきましたが、  
この着こなしで大人が着るべき  
スタイルが見えてきましたね。

---

さて好評につき次回も鈴木晴生氏の着こなし  
指南をお届けします。ポーナストラックはトレンチ  
コートの着こなし術。どうぞお楽しみに。

取材協力

---

**SHIPS** シップス 銀座店

TEL : 03-3564-5547

URL : [www.shipsltd.co.jp](http://www.shipsltd.co.jp)